

新聞やテレビで目にしたことがあるかもしれませんが、日本全国でニホンジカの個体数増加や分布拡大が報告されています。増えすぎたシカは農林業だけでなく森で暮らす他の生き物たちにも色々な影響をもたらします。ここではその中でもシカとチョウの関係について紹介します。

シカとチョウの関係と言ってもピンと来ないかもしれませんが、どちらも植物を餌としています。そのため、シカがチョウの餌になる植物を食べることが間接的にチョウに影響するのです。では、どのような影響が生じるのでしょうか？

私が調査したジャコウアゲハ（写真 1）では、シカが食べた後に出てくる新しい葉（写真 2）を古い葉よりも好んで利用していることがわかりました（図 1）。つまり、シカはチョウの餌の量を減らしてしまうと同時に餌の質を改善していたといえます。植物の反応が間にあることで、シカが増えればチョウが減る、シカを減らせばチョウが増えるといった単純な図式に当てはめられない、複雑な関係が成り立っているといえます。

高木 俊（自然・環境マネジメント研究部）



写真 1 ジャコウアゲハ(雌)



写真 2 シカに食べられた後に若い葉を出すオオバウマノスズクサ

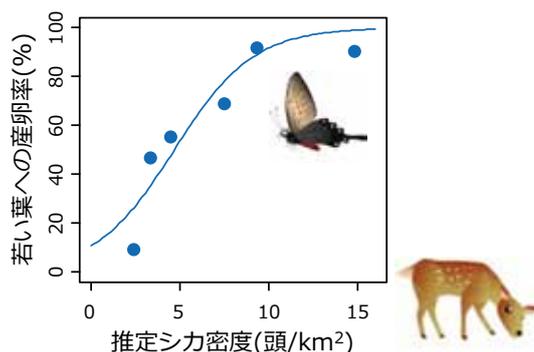


図 1 推定シカ密度と若い葉への産卵率の関係
シカが多い地域では 100%近い卵が若い葉に産卵されている。Takagi & Miyashita (2012) を改変。

トピックス

新入館員 自己紹介



総務課
阿在 沙織

この 4 月から人と自然の博物館に参りました阿在です。総務課で給与・収入を担当しております。博物館での仕事は初めてですが、これまでの経験をこの館のテーマである、人と自然の共生に役立てていけたらと思います。よろしくお願いいたします。



生涯学習課
笹倉 達義

私は高等学校の事務室で勤務した後、当博物館で勤務させていただいておりますが、展示物や催し等について興味が尽きないことばかりです。来館者の方々に楽しんでいただき、自然科学に興味を持っていただけるようにお役に立てたらと思いますのでよろしくお願いいたします。



総務課
西村 敦

この 4 月から、人と自然の博物館に参りました西村です。「館」の字がつく職場は 3 つめですが、今までとはまた違った雰囲気、新鮮な気持ちで仕事をさせていただいております。当館の運営に少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。



生涯学習課
橋尾 和紀

学校現場での経験を生かした各種学校・園との連携の他、セミナーのお手伝いや 15 回目となるボルネオジャングル体験スクールのお世話をさせていただいております。様々な発見があり、充実した日々を送っています。今後も、たくさんの方のお役に立てるよう努めて参ります。

ひとはく通信

ハーモニー

86

Sep. 2014

特集 阪神・淡路大震災から 20年

1995年兵庫県南部地震で淡路島北部の造成地に現れた地震断層。現在は野島断層保存館として室内で保存・公開されている（提供：中田高 広島大学名誉教授、1995年1月17日撮影）。